

まず最初にこの紙を読んでください

履修科目の決定について

交通機械工学科で履修する科目は、卒業するためには必ず履修し、単位を修得する必要がある必修科目と自分の興味や希望に合わせて選択できる選択科目で構成されています。このうち、選択科目の中には必修科目ではなくても、学生のみなさんに是非履修してほしい科目やスムーズに進級していくためには1年次に履修すべき科目があります。

本資料では履修科目を登録する際に、新入生のみなさんが1年次に履修すべき科目を見落とす等の状況に陥らないよう、履修すべき科目と選択できる科目を明確に区分して伝えること、選択できる科目における選択の考え方を伝えることの2点を主たる目的として作成しています。

まず「組分けについて」の内容を読んで、自分が所属する組を確認してください。次に「交通機械工学科のコースについて」を読んで、3種類のコースについて理解してください。その後「時間割の作成について」の内容に沿って、自分の履修する科目を決定し、時間割を作成してください。なお、年間の履修上限は48単位です。履修する科目の総単位数が48単位を超えることはできません。

次は「組分けについて」の紙に移動してください

組分けについて

交通機械工学科の2020年度の新入生の人数は100名を超えていますが、科目の中には50名以下の少人数で実施する科目があり、これらの科目では全体を3つの組に分けて授業を実施します。組が異なると、同じ科目でも曜日や時限が異なる場合があるため、時間割や履修パターンは組によって異なります。

あなたの所属する組は **3組** です

従って、この資料は3組の学生向けのもので、1組、2組の人とは異なる部分がありますので、注意してください。

なお、組は学籍番号の下3桁で分けており、この数字を3で割った時の剰余が1の人は1組、2の人は2組、割切れて剰余が0の人は3組です。例えば学籍番号が20G016の場合、 $16 \div 3 = 5$ で剰余が1なので、1組です。もしも、あなたの学籍番号の下3桁の数字でこの計算をした場合の組とこの紙や時間割に書かれている組が異なる場合には、注意事項の紙に書かれている学科の連絡先まで連絡してください。

**次は「交通機械工学科のコースについて」の紙に移動
してください**

交通機械工学科のコースについて

交通機械工学科には以下に示す3種類のコースがあります。

・自動車工学コース ・鉄道工学コース ・交通機械コース

各学生はこのうちの一つのコースを選択し、そのコースの卒業要件を満たすように科目を履修します。従って、履修科目を決めるためには、これらのコースのことをある程度理解する必要があります。この資料では、これら3コースの概要について説明します。

なお、例年はこれらに関して新入生向けのガイダンスにて説明しています。しかし、今年度は4月20日以後に予定していたこのガイダンスが中止となりました。このため、詳細の説明は対面の授業が開始される5月11日以後に改めて実施します。

<自動車工学コース>

自動車に関する様々な科目や実習が必修になっているコースです。また、卒業時に二級自動車整備士の受験資格を実技試験免除で得ることができます。鉄道工学AO入試で合格した以外の学生はすべて、入学時には自動車工学コースとなっています。2年になる際に鉄道工学コースに移ることが可能です。2、3、4年になる際に交通機械コースに移ることが可能です。

(自動車に関する科目例)

自動車構造論1、自動車性能論、交通原動機学1、自動車工学実習1～3等

<鉄道工学コース>

鉄道に関する様々な科目が必修となっているコースです。鉄道工学AO入試で合格した学生は入学時から鉄道工学コースとなっています。2年になる際に自動車工学コースから移ることが可能です。2、3、4年になる際に交通機械コースに移ることが可能です。

(鉄道に関する科目例)

鉄道車両、鉄道設計、高速鉄道、鉄道機械、鉄道工学フィールドワーク等

<交通機械コース>

交通に関わる幅広い科目を履修することが可能なコースです。2、3、4年になる際に、自動車工学コース及び鉄道工学コースから移ることが可能です。

(交通に関する科目例)

交通システム工学、ビークルエネルギー工学、航空工学、船舶工学等

次は「時間割の作成について」の紙に移動してください

時間割の作成について

本資料には以下3種類の時間割を添付しています。

a： 一般（教職科目を含まない）の時間割（3組）

b1：教職科目を含む時間割（3組）

b2：教職科目の履修例を含む時間割（3組）

交通機械工学科では卒業後に工業高校の教員を目指す人のために、高等学校教諭一種免許状（工業）を取得することが可能となっています。この免許を取得するためには教職科目を履修する必要があります。

高等学校教諭一種免許状(工業)の取得を考えていない人は

「一般(教職科目を含まない)の時間割について」に進んでください。

高等学校教諭一種免許状(工業)の取得を考えている人は

「教職科目を含む時間割について」に進んでください。

一般（教職科目を含まない）の時間割について

ここでは、高等学校教諭一種免許状（工業）の取得を考えていない人のための時間割について説明します。以下に従って、履修する科目を決定してください。

A-3 頁の「a：一般（教職科目を含まない）の時間割（3組）」を確認してください。縦に時限と前期・後期、横に曜日を示す時間割が示されています。各マスの色は以下のように区分されています。

- 緑・・・・・・・・必ず履修すべき科目がある時限
- ピンク・・・・・・・・希望するコースによっては必ず履修すべき科目がある時限
- 黄・・・・・・・・自由に選択できる科目がある時限
- 白・・・・・・・・科目の設定がない時限

これらの他に単位数のマスが赤くなっている科目があります。これらについてはクラス登録抽選応募が必要な科目です。これについては別紙「履修登録について」にて後述します。

緑色になっている部分の科目は必ず履修登録してください。この緑色の部分の科目の単位数を合計すると、35単位になります。

ピンク色になっている部分には前期水曜5限の「鉄道車両」、後期木曜4限の「自動車構造論1」があります。これらの科目は、以下の表に示すように選択するコースによって必修科目か選択科目か異なります。

コース名	鉄道車両	自動車構造論1
自動車工学コース	選択	必修
鉄道工学コース	必修	選択
交通機械コース	必修	選択

どのコースを修了するか既に決めている人は、そのコースの必修科目を必ず履修してください。なお、この2つの科目は本学科の鉄道及び自動車の科目の中でも最も基礎の内容を含んでおり、すべての学生に両方の科目を受講して欲しいと考えています。このため、修了するコースを既に決めている人、まだ決めていない人ともに、両方の科目を履修することを勧めます。これら両方の科目を履修する場合、緑色の部分と合わせて39単位となります。片方の科目のみ履修する場合、緑色の部分と合わせて37単位となります。

黄色になっている部分は選択科目なので、各時限の中で自分の受けたい科目を自由に選択す

ることができます。別紙の注意事項(Q&A)の内容を踏まえて、総履修単位数が48単位を超えない範囲で履修する科目を選択してください。例えばピンク色の部分の2科目を両方とも履修する場合、緑色と合わせて39単位なので、 $48 - 39 = 9$ 単位分を選択できます。例えば以下のような選択があります。

前期：月曜1限 ドイツ語入門1（1単位）
火曜2限 大阪産業大学と社会（1単位）
後期：月曜1限 ドイツ語入門2（1単位）
水曜3限 科学技術史（2単位）
木曜2限 心理学（2単位）
金曜5限 自動二輪工学（2単位）

**これらの説明の他に、別紙「注意事項(Q&A)」の内容も
参考にしてください。**

次は「履修登録について」の紙に移動してください。

教職科目を含む時間割について

ここでは、高等学校教諭一種免許状（工業）の取得を考えている人のための時間割について説明します。以下に従って、履修する科目を決定してください。

教職科目を含む時間割として、「b1：教職科目を含む時間割（3組）」と「b2：教職科目の履修例を含む時間割（3組）」を添付しています。また、以下のサイトに教職についての詳細が書かれている教職課程ガイドブックがあります。こちらも必ず確認してください。

https://www.osaka-sandai.ac.jp/life/teacher_course/g_book/

まず B-3 頁の「b1：教職科目を含む時間割（3組）」を確認してください。縦に時限と前期・後期、横に曜日を示す時間割が示されています。各マスの色は以下のように区分されています。

- 緑・・・・・・・・必ず履修すべき科目がある時限
- ピンク・・・・希望するコースによっては必ず履修すべき科目がある時限
- 橙・・・・・・・・教職科目の必修科目がある時限または科目
- 黄・・・・・・・・自由に選択できる科目がある時限または科目
- 青・・・・・・・・教職科目の選択科目
- 白・・・・・・・・科目の設定がない時限

これらの他に単位数のマスが赤くなっている科目があります。これらについてはクラス登録抽選応募が必要な科目です。これについては別紙「履修登録について」にて後述します。

緑色になっている部分の科目は必ず履修登録してください。この緑色の部分の科目の単位数を合計すると、35単位になります。

ピンク色になっている部分には前期水曜5限の「鉄道車両」、後期木曜4限の「自動車構造論1」があります。これらの科目は、以下の表に示すように選択するコースによって必修科目か選択科目か異なります。

コース名	鉄道車両	自動車構造論1
自動車工学コース	選択	必修
鉄道工学コース	必修	選択
交通機械コース	必修	選択

どのコースを修了するか既に決めている人は、そのコースの必修科目を必ず履修してください。なお、この2つの科目は本学科の鉄道及び自動車の科目の中でも最も基礎の内容を含んでおり、すべての学生に両方の科目を受講して欲しいと考えています。このため、修了するコースを既に決めている人、まだ決めていない人ともに、両方の科目を履修することを勧めます。これら両方の科目を履修する場合、緑色の部分と合わせて39単位となります。片方の科目のみ履修する場合、緑色の部分と合わせて37単位となります。

橙色になっている部分は、教職の必修科目です。これらの科目は履修上限の48単位に含まれないので、単位数が書いてありません。必ず履修すべき科目と同じ時限のものを除くと、以下の期の曜日・時限に設定されています。

教育原理・・・後期の月曜6限と金曜5限
 教育心理学・・・前期の水曜5限
 教育方法論・・・後期の木曜3限と木曜5限
 教職入門・・・前期の金曜1限

これらの科目はできる限り履修してください。なお、教育心理学は鉄道車両と同じ時限（前期水曜5限）になっています。これについては以下を踏まえて履修科目を選択してください。

終了予定のコース	前期水曜5限	備考
自動車工学コース	教育心理学	2年生以後で鉄道車両を履修可能
鉄道工学コース	鉄道車両	2年生以後で教育心理学を履修する
交通機械コース	鉄道車両	
未定	どちらでもよいが 鉄道車両が望ましい	

黄色と青色になっている部分は選択科目なので、各時限の中で自分の受けたい科目を自由に選択することができます。このうち、青色は教職に関する選択科目です。これらの時限については、教職課程ガイドブックを確認して履修科目を選択してください。これらの履修科目の選択に迷う場合には、「b2：教職科目の履修例を含む時間割（3組）」に基づいて決めることを勧めます。このモデルパターンでは、複数の時限に配置されている教職科目及び他の科目と時限が重なっている教職科目を赤字で示すように選択しています。

これらの単位数を緑色及びピンク色の部分の単位数に加えると、自動車構造論1と鉄道車両の両方を履修する場合には41単位、片方のみを履修する場合には39単位となります。

履修上限は48単位なので、現時点で41単位の場合には、 $48 - 41 = 7$ 単位、現時点で39単位の場合には、 $48 - 39 = 9$ 単位を黄色の科目から選択することができます。別紙の注意事項(Q&A)の内容を踏まえて、総履修単位数が48単位を超えない範囲で履修する科目を選択してください。例えば現時点で41単位の場合、以下のような取り方があります。

前期：月曜1限 ドイツ語入門1（1単位）
 火曜2限 大阪産業大学と社会（1単位）
 後期：月曜1限 ドイツ語入門2（1単位）
 火曜2限 教養入門ゼミ（2単位）
 木曜2限 心理学（2単位）

これらの他に、別紙「注意事項(Q&A)」の内容も参考にしてください。

次は「履修登録について」の紙に移動してください。

履修登録について

履修登録に関わる処置は以下の2回に分けて実施する必要があります。

クラス登録抽選応募：期間 4月22日（水）、23日（木）、24日（金）
履修登録本申請：期間 4月28日（火）、30日（木）、5月1日（金）

<クラス登録抽選応募について>

クラス登録抽選応募が必要な科目は、時間割の中に単位数のマスが赤く塗られている科目です。これらの科目は上記クラス登録抽選応募の期間に履修登録の処置をする必要があります。

定員が決まっているので、それを超える人数の応募がある場合には抽選となります。抽選に外れた場合の処置は科目により異なります。これらは以下の表に示す通りです。

科目	抽選に外れた場合
英語（Listening&Speaking）1・2 英語（Reading&Writing）1・2	同一時限の別の英語のクラスに割り当てられます
ドイツ語入門1・2 フランス語入門1・2 中国語入門1・2	第2希望または第3希望で指定する別の言語科目に割り当てられます
平和学，CAD，教養入門ゼミ， スポーツ科学実習1・2，現代の政治	その時限で履修することができません (履修がキャンセルされます)

抽選に外れて履修がキャンセルになった場合には、履修登録本申請時に別の時限の他の科目を履修してください。

なお、前期の平和学は抽選科目ですが、後期の平和学は抽選科目ではありません。

<履修登録本申請について>

クラス登録抽選応募が必要な科目以外の科目の履修登録を実施します。前述のように、抽選に外れて履修がキャンセルされた科目があった場合には、別の時限の他の科目の履修登録を実施してください。

これらの履修登録の方法については、同封の「履修ガイダンス」と書かれている紙を確認してください。なお、履修登録の方法やWebでの処置について不明な点がある場合には教務課に確認してください。教務課のメール連絡先は risyu@cnt.osaka-sandai.ac.jp です。電話の場合は、(072)875-3001 にかけて、教務課へつないでもらってください。教務課への連絡方法は「履修ガイダンス」と書かれている紙にも書いてあります。

注意事項 (Q&A)

◆履修登録はどのようにして実施すればよいですか？

同封の「履修ガイダンス」と書かれている資料に書いてあります。こちらを確認してください。

◆各科目の内容はどのようにして調べることができますか？

大学のポータルサイトにある Web シラバスシステムで確認できます。既に送付されている Web 履修申請ガイドブックの中の Web シラバスシステムの欄の内容に従ってください。なお、同封の「履修ガイダンス」と書かれている資料にも、Web シラバスシステムについては少し触れています。

◆一度履修登録すると、もう変更できないのですか？

できます。履修登録修正期間が前期と後期両方に設定されており、前期は5月13日～15日、後期は9月28日～30日です。

◆今回、履修登録しない選択科目は、2年生以後で履修することはできますか？例えば、同じ時限の選択科目で、是非受けたい科目が2つある場合に、両方受けることは可能でしょうか？

前期火曜2限「大阪産業大学と社会」を除き、2年生以後での履修が可能です。このため、受けたい科目の一つを選んで履修し、もう一つは2年生以後で履修することができます。

◆選択科目で、異なる曜日に同じ名称の科目がありますが、これは両方履修することはできるのですか？

できません。同じ名称の科目は時限が異なっても同じ科目です。

◆必ず48単位の履修登録をする必要があるのですか？

これは上限なので、これを超えなければよいですが、できれば47単位もしくは48単位を履修するようにしてください。科目によって単位数が異なるので、受講したい2単位の科目をやめて、1単位の科目を取らなければぴったり48単位にできない場合があります。このような場合には47単位で留めざるを得ません。

◆選択科目を選んでみたら、前期の単位数が後期よりもかなり多くなってしまいました。問題ないでしょうか？

緑色及びピンク色の部分と初修外国語を合計すると前期23単位、後期18単位の合計41単位になっています。時間割に入れることができるなら、前期と後期で単位数に偏りがあっても履修することは可能ですが、できれば残りの選択科目は、後期を中心にとって、前期と後期の履修単位数が大きく開かないようにする方が良いと思います。

◆選択科目の中で是非取るのがよい、という科目はありますか？

前期と後期の月曜1限に配当されている初修外国語(ドイツ語, フランス語, 中国語)を、履修することを勧めます。卒業するには、英語と初修外国語を合わせて8単位、このうち英語を4単位以上取る必要があります。すべて英語で8単位取る人もいますが、多くの学生は初修外国語の単位も取って8単位にしています。

◆授業の選択やこの資料の内容でわからないことがある場合には、どうしたらよいですか？

以下の学科の連絡先までメールか電話で連絡してください。電話は不在の場合があるので、メール連絡できるならメールの方が望ましいです。

<学科の連絡先>

メールの場合、tashiro@tm.osaka-sandai.ac.jp まで連絡してください。

電話の場合、(072)875-3001 に電話すると交換手が出ます。「交通機械工学科の新入生の〇〇です。交通機械工学科の田代教授をお願いします」と伝えてください。田代が不在の場合、杉山教授か上田准教授を指定してください。

なお、履修登録の方法や Web での処置については教務課に連絡して、確認してください。

教務課のメール連絡先は risyu@cnt.osaka-sandai.ac.jp です。電話連絡する場合は、

(072)875-3001 に電話して、交換手に「教務課へつないでください」と伝えてください。

なお、教務課への連絡方法は「履修ガイダンス」と書かれている紙にも書いてあります。